

産業構造審議会2050経済社会構造部会(第5回)

労働市場の構造変化の現状と課題について ポピンズの取り組みと課題



株式会社ポピンズ

代表取締役社長 轟 麻衣子



ポピンズの取り組みと課題

1. 個人事業主という働き方の推進

人生100年時代、ライフステージの変化に応じて働き方を調整できる個人事業主は、女性の選択肢として有効

ポピンズの例：

子育てをキャリアとして認めると、ナニーは80歳まで働ける。

- 英国の国家資格にあたるナニーの名門養成校ノーランドカレッジと連携し、「ナニー養成講座」でナニーを養成。ベビーシッターの質の見える化を推進するため、4月より「ナニースクール・ナニー検定」を公開講座として開講。
- **60歳以上 721名、内70歳以上109名**がナニーとして活躍中。人生100年時代に長く活躍できる働き方の一つ。

ベビーシッターの活躍の場を拡大し、ベビーシッター控除の導入を。



ポピンズの取り組みと課題

2. 兼業・副業の推進

兼業・副業は自身のスキルアップにもなるという考えからOK。

ポピンズの例： ベビーシッター付保育園・学童

- ポピンズグループのベビーシッターサービス「スマートシッター」では、保育園に通う子どもの送迎や、保護者が不在時の自宅でのお子様のお世話を保育士がサービスとして提供している
- 保育施設の保育士が「スマートシッター」に登録することで、顔なじみの慣れ親しんだ保育士が保育園への送迎をしてくれるので、親にとっても子どもにとっても安心。

「過重労働となり、本業に支障をきたす」のではないか、という懸念は企業だけではなく、労働者側にもある。兼業・副業をする労働者側にとってもわかりやすい、労働時間の管理・把握のルール及早急な明確化が必要。